

祝 辞

春の息吹を感じるこの佳き日、本日ここに、卒業を迎えられました皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

また、これまで皆さまを育て、温かく見守ってこられたご家族をはじめ関係者の方々にも、お祝い申し上げます。また、学生を指導してこられた教職員の皆さまに、この場をお借りして深く感謝いたします。

学校法人宮崎学園を代表しまして一言お祝いを申し上げます。学校法人宮崎学園は、昭和14年、大坪資秀初代理事長によって創設されました。昭和、平成、令和へと三時代にわたり多様な変化進展を経て、84年の歴史を刻んでいます。

本学は、平成6年、大坪久泰第二代理事長によって創設されました。グローバル社会で活躍する人材育成をめざし、英語によるリベラル・アーツ教育という、極めて先進的な教育に取り組みました。また、創立20周年を迎えた平成26年には教育学部を新設し、教員養成に取り組み始めました。

本学園の建学の精神は、「礼節・勤労」です。建学の精神「礼節・勤労」で目指してきたことは、人間としての成長です。「礼節」の精神では、礼節を重んじ、自他の人間性を尊重し、自らを律し、他者の立場に立って物事を考えることをめざしてきました。さらに「勤労」の精神では、心身を労して全てのことに積極的に努力することをめざしてきました。これらは、日々の生活において真摯な態度で生きることを求めるものであります。

昨今の情勢を見ますと、戦争、自然災害、感染症拡大等、様々な困難があります。次世代は、VUCAの時代であると言われてはいますが、今まさに予測困難、不確実・複雑・曖昧というVUCA時代のただ中にあると思います。皆さんは、コロナ禍と共に入学し、多くの制約のもとで4年間を過ごした方々です。我慢の多い学生生活だったのではないかと思います。しかし、このような思い通りにはならないという困難を乗り越えて、今日という日を迎えられました。コロナ禍で過ごした大学4年間の経験は、これからの皆さんの人生に大きな意味をもたらすことと思います。

これから新しい時代の中で生きていくためには「つなぐ力、つながる力」が必要になると思います。コミュニケーション能力にプラスして、幅広い知識、データを集め、読み解く力が必要です。これらは、日々進展します。ですので、日々の学びを止めてはなりません。生涯学び続ける、学びの継続は不可欠となります。

皆さんの学びの基礎は、リベラル・アーツです。本学のグローバルキャンパスの中で、自分の常識が常識ではない瞬間に遭遇した学生さんは多いのではないかと思います。人を理解し、時代を理解し、豊かな社会への貢献を目指し、本学の学びを土台として、さらに、研鑽を積んでいってください。そして、もう一つは謙虚さです。建学の精神に込められた「礼節・勤労」を思い出し、謙虚に生きていかれることを願います。

「置かれた場所で咲きなさい」という渡辺和子氏の著書があります。渡辺氏は、著書の中で、「どんなところに置かれても花を咲かせる心を持ち続けよう」と記しています。

この4年間、皆さんに多くの学びの種をまきました。創設者大坪久泰先生がまかれたグローバルな学びに加え、多面的思考やこども達の成長を育む学びの種がまかれました。

皆さんお一人お一人が、これから向かわれるそれぞれの場所で、本学でまかれた学びの種をしっかりと育て、自分らしい花を咲かせる努力をしていかれることを望みます。日照りが続くかもしれません、風雨が続くかもしれません。それでも花を咲かせるという願いと希望を持ち、勇気を持って歩み

続けていかれることを願っています。

いよいよ新たな世界への出発です。宮崎国際大学での学びを地球社会の発展に貢献されますことを期待します。志高く、ご自分の道をひたすらに進み、素晴らしい人生を歩んでいかれることを心から願います。

結びに、卒業生の皆さんの末永いご多幸と、本日もご列席の皆さま、教職員の皆さまのご支援に深く感謝申し上げます。

令和6年3月13日

学校法人宮崎学園理事長 山下 恵子